

平成30年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

小千谷市教育委員会

【目 次】

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

1	教育委員会 第4回定例会	(平成30年 4月20日開催)	……	1
2	教育委員会 第5回定例会	(平成30年 5月15日開催)	……	2
3	教育委員会 第6回定例会	(平成30年 6月26日開催)	……	2
4	教育委員会 第7回定例会	(平成30年 7月20日開催)	……	3
5	教育委員会 第8回定例会	(平成30年 8月17日開催)	……	3
6	教育委員会 第9回定例会	(平成30年 9月25日開催)	……	4
7	教育委員会 第10回定例会	(平成30年10月24日開催)	……	4
8	教育委員会 第11回定例会	(平成30年11月28日開催)	……	5
9	教育委員会 第12回定例会	(平成30年12月19日開催)	……	5
10	教育委員会 第1回定例会	(平成31年 1月23日開催)	……	6
11	教育委員会 第2回定例会	(平成31年 2月22日開催)	……	6
12	教育委員会 第3回定例会	(平成31年 3月26日開催)	……	7

II 教育委員会における事務の点検及び評価

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア	家庭、地域における幼児教育の充実	……	8
イ	子ども読書活動の推進	……	9
ウ	教育相談の充実	……	10

(2) 小・中学校教育の充実

ア	学校の創意を活かす教育の推進	……	10
イ	学ぶ意欲を高める学習指導の推進	……	11
ウ	ふるさと学習・キャリア教育の推進	……	11
エ	震災体験を活かした防災教育の推進	……	11
オ	読書活動の推進	……	12
カ	英語教育・国際理解教育の充実	……	12
キ	日本語指導等を必要とする児童・生徒への対応	……	13
ク	いじめ・不登校対策、人権感覚を育む教育の推進	……	13
ケ	非核平和教育の推進	……	14
コ	食育の推進	……	14
サ	学校給食の運営	……	15

(3)	特別支援教育の充実	
ア	就学相談体制の充実	15
イ	通級指導教室の拡充	16
ウ	総合支援学校の運営支援	16
エ	特別支援教育の充実	16
オ	生徒への就労支援	17
(4)	教育環境の整備	
ア	学校施設の整備・充実	17
イ	学校給食施設の整備・充実	18
ウ	情報化の推進	18
(5)	育英事業の推進	
ア	育英事業の支援	19

2 生涯学習の推進

(1)	生涯学習事業の推進	
ア	学習機会の充実	19
イ	グループ活動の支援	20
ウ	指導体制の充実	21
エ	公民館活動の充実	21
オ	図書館サービスの充実	22
カ	生涯学習施設の整備	23
(2)	青少年の健全育成	
ア	相談業務の充実	23
イ	育成指導体制の充実	23
ウ	家庭教育の支援	24
エ	地域活動などへの参加推進	24
オ	地域ボランティアの活動支援	25
カ	子ども・若者育成への支援	25
キ	勤労青少年の活動支援	25

3 文化の振興

(1)	文化・芸術の振興	
ア	文化団体などの育成支援	26
イ	芸術鑑賞の機会の充実	26
(2)	文化財等の保存と活用	
ア	文化財の調査、保存	27
イ	文化施設(郷土資料館等)の整備	27
ウ	後継者の育成	27
エ	郷土の偉人の顕彰	28

4	スポーツの振興	
	(1) 地域スポーツの振興	
	ア 生涯スポーツの推進	28
	イ 競技スポーツの推進	29
	ウ スポーツ活動の普及推進	29
	エ 指導者養成の推進	29
	オ 健康・体力づくりの推進	30
	(2) 体育施設の整備	
	ア 体育施設の整備・充実	31
	イ 白山運動公園の再整備計画	31
	ウ 屋根付き屋外運動施設建設の整備検討	31
5	人口減少対策	
	ア 少子化対策の推進	31
Ⅲ	点検及び評価に対する意見等	32

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、小千谷市教育委員会の平成30年度における事務の管理及び執行の状況について、教育施策が着実に執行されているかなど、学識経験者からご意見をいただきながら、点検及び評価を行い、その結果を報告するものです。

教育を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、市教育委員会の事務・事業につきまして一層のご理解を深めていただくとともに、「人に育み文化の香るまちづくり」のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

小千谷市教育委員会

【学識経験者】

- ・ 伊藤 本 恵（新潟県立小千谷高等学校長）
- ・ 藤 井 和 夫（小千谷市社会教育委員会委員長）
- ・ 吉 原 正 幸（小千谷市スポーツ協会長）

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

平成30年度に教育委員会定例会を12回開催し、37件の議案を審議しました。また、会議録承認12件、陳情2件、協議報告事項は101件でした。審議の結果は、以下のとおりです。

1 教育委員会第4回定例会

- ・ 日 時 平成30年4月20日(金) 午後3時36分～午後4時40分
- ・ 場 所 市役所 403会議室
- ・ 会議録承認 平成30年第3回定例会
- ・ 議 事 (2件)

議案第12号	個人演説会等開催のために必要な施設及び個人演説会等の施設の公営のために納付すべき費用の額の一部改正について	原案可決
議案第13号 (非公開)	臨時代理について（附属機関の委員の人事について）	原案承認

- ・ 協議報告事項（5件）
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 新入学後の子どもたちの様子について
 - ・ 平成30年度教育委員・管理指導主事学校訪問日程調整について
 - ・ 中学校の道徳教科書採択について

2 教育委員会第5回定例会

- ・ 日 時 平成30年5月15日(火) 午後4時03分～午後4時59分
- ・ 場 所 市役所 403会議室
- ・ 会議録承認 平成30年第4回定例会
- ・ 議 事 (5件)

議案第14号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（小千谷市体育館条例の一部を改正する条例の制定について））	原案承認
議案第15号	小千谷市教育センター運営委員会規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第16号	小千谷市スポーツ推進審議会に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第17号 (非公開)	臨時代理について（附属機関の委員の人事について）	原案承認
議案第18号 (非公開)	全国学力・学習状況調査の結果公表の取扱いについて	原案可決

- ・ 協議報告事項（6件）
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 平成30年度教育委員・管理指導主事学校訪問について
 - ・ 学校給食センターの業務民間委託後の状況について
 - ・ 教育センターの状況について
 - ・ 戊辰150年事業について

3 教育委員会第6回定例会

- ・ 日 時 平成30年6月26日(火) 午後4時00分～午後5時03分
- ・ 場 所 総合体育館 体育団体室
- ・ 会議録承認 平成30年第5回定例会
- ・ 議 事 (5件)

議案第19号	小千谷市教育委員会組織規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第20号 (非公開)	臨時代理について（附属機関の委員の人事について）	原案承認
議案第21号 (非公開)	臨時代理について（附属機関の委員の人事について）	原案承認
議案第22号 (非公開)	臨時代理について（附属機関の委員の人事について）	原案承認
議案第23号 (非公開)	附属機関の委員の人事について	原案可決

- ・ 協議報告事項（9件）
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について

- ・ 次回委員会開催日程について
- ・ 市議会第2回定例会一般質問について
- ・ 市内中学校体育大会の結果について
- ・ 新潟県少年の主張大会～わたしの主張～審査員について
- ・ 新しいおちやっ子教育プランの策定に向けて
- ・ 危険構造物の調査について
- ・ 児童の事故について
- ・ 学校訪問の様子について

4 教育委員会第7回定例会

- ・ 日 時 平成30年7月20日(金)午後4時00分～午後5時13分
- ・ 場 所 市役所 403会議室
- ・ 会議録承認 平成30年第6回定例会
- ・ 議 事 (5件)

議案第24号	特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書の採択について	原案可決
議案第25号	小学校教科用図書の採択について	原案可決
議案第26号	中学校教科用図書の採択について	原案可決
議案第27号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(損害賠償の額の決定について))	原案承認
議案第28号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認

- ・ 協議報告事項(9件)
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 船岡前教育委員の表彰について
 - ・ 市内中学校中越地区大会の結果について
 - ・ 新潟県少年の主張大会～わたしの主張～選考結果について
 - ・ 熱中症対策における学校への通知について
 - ・ 一学期間のいじめ・不登校等について
 - ・ 学校訪問の様子について
 - ・ 教育に関する事務の点検評価会議の進行について

5 教育委員会第8回定例会

- ・ 日 時 平成30年8月17日(金) 午後4時00分～午後4時55分
- ・ 場 所 市役所 403会議室
- ・ 会議録承認 平成30年第7回定例会

・ 議 事 (1件)

議案第29号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(損害賠償の額の決定について))	原案承認
--------	---	------

・ 協議報告事項 (9件)

- ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
- ・ 次回委員会開催日程について
- ・ 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について
- ・ 各種大会の出場結果について
- ・ 夏休みの児童・生徒の状況等について
- ・ 中学校の運動会日程について
- ・ 教育委員会先進地行政視察計画について
- ・ 南小学校における不審者侵入事案について
- ・ 外国人との英会話研修について

6 教育委員会第9回定例会

- ・ 日 時 平成30年9月25日(火) 午後4時00分～午後5時08分
- ・ 場 所 総合体育館 体育団体室
- ・ 会議録承認 平成30年第8回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第30号	小千谷市部活動の在り方に係る方針について	原案可決
--------	----------------------	------

・ 陳 情 (2件)

陳情第1号	小千谷市教育の振興に関する要望書	原案可決
陳情第2号	「子ども安心カード事業」に関する要望書について	原案可決

・ 協議報告事項 (9件)

- ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
- ・ 次回委員会開催日程について
- ・ 各種大会の結果について
- ・ 新潟県少年の主張大会～わたしの主張～長岡地域地区大会の選考結果について
- ・ 市議会第3回定例会における一般質問について
- ・ 「中越大震災の日」に係る取組について
- ・ 平成30年度地方教育行政功労者表彰について
- ・ 杉並区交流野球大会について
- ・ 生徒における事故について

7 教育委員会第10回定例会

- ・ 日 時 平成30年10月24日(水)

午前 11 時 06 分～午前 11 時 42 分

- ・ 場 所 総合体育館 体育団体室
- ・ 会議録承認 平成 30 年第 9 回定例会
- ・ 協議報告事項 (8 件)
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 中越地区中学校駅伝競走大会の結果について
 - ・ いじめ・不登校の状況及びいじめ対策専門委員会の報告について
 - ・ 杉並区交流野球大会の結果等について
 - ・ 総合支援学校への物品寄贈の件について
 - ・ 当市における教育研究大会の開催について
 - ・ 戊辰 150 年関連事業について

8 教育委員会第 11 回定例会

- ・ 日 時 平成 30 年 1 月 28 日(水)午後 4 時 00 分～午後 4 時 57 分
- ・ 場 所 市役所 403 会議室
- ・ 会議録承認 平成 30 年第 10 回定例会
- ・ 議 事 (1 件)

議案第 31 号 (非公開)	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(平成 30 年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第 4 号)について))	原案承認
-------------------	--	------

- ・ 協議報告事項 (10 件)
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 中学校駅伝競走大会(県大会及び北信越大会)の結果について
 - ・ 秋の文化系行事の報告について
 - ・ 市 P T A 連合会主催第 51 回研究大会について
 - ・ 第 31 回野馬追いの里健康マラソン大会について
 - ・ 平成 30 年度新潟県知事表彰について
 - ・ おぢやしごと未来塾について
 - ・ 教育委員会先進地視察の感想について
 - ・ 今後の日程等について

9 教育委員会第 12 回定例会

- ・ 日 時 平成 30 年 12 月 19 日(水) 午後 4 時 30 分～午後 5 時 20 分
- ・ 場 所 総合体育館 体育団体室
- ・ 会議録承認 平成 30 年第 11 回定例会

・ 議 事 (1件)

議案第32号 (非公開)	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(平成30年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第5号)について))	原案承認
-----------------	--	------

・ 協議報告事項 (9件)

- ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
- ・ 次回委員会開催日程について
- ・ 新「おちやっ子教育プラン」について
- ・ 小、中学校卒業式の日程等について
- ・ 第4回市議会定例会における一般質問について
- ・ 全国中学校駅伝大会の結果について
- ・ 「年初めスポーツイベント」について
- ・ おちやしごと未来塾の感想について
- ・ 2学期の総括について

10 教育委員会第1回定例会

- ・ 日 時 平成31年1月23日(水) 午後4時00分～午後5時03分
- ・ 場 所 市役所 403会議室
- ・ 会議録承認 平成30年第12回定例会
- ・ 議 事 (2件)

議案第1号	おちやっ子教育プラン(2019年度～2021年度)の制定について	原案可決
議案第2号	小千谷市立小中学校区域外就学及び学区外就学許可基準の一部改正について	原案否決

・ 協議報告事項 (10件)

- ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
- ・ 次回委員会開催日程について
- ・ 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
- ・ いじめ、不登校の状況について
- ・ インフルエンザの発生状況について
- ・ 各スキー大会等の結果について
- ・ 旧小千谷総合病院跡地整備事業概要(案)について
- ・ 国民文化祭大会旗引継セレモニーについて
- ・ 小千谷市教育美術展について
- ・ 卒業式の出席及び新年度の日程等について

11 教育委員会第2回定例会

- ・ 日 時 平成31年2月22日(金) 午後4時00分～午後5時18分

- ・ 場 所 市役所 403会議室
- ・ 会議録承認 平成31年第1回定例会
- ・ 議 事 (8件)

議案第3号	小千谷市公民館分館運営規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第4号	小千谷市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第5号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について))	原案承認
議案第6号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(小千谷市文化財保護条例の一部を改正する条例の制定について))	原案承認
議案第7号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(小千谷市文化財調査審議会設置条例の一部を改正する条例の制定について))	原案承認
議案第8号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(平成30年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第6号)について))	原案承認
議案第9号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(平成31年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)当初予算について))	原案承認
議案第10号 (非公開)	平成31年度管理職教職員人事異動の内申について	原案承認

- ・ 協議報告事項 (9件)
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 第2次小千谷市生涯学習推進計画及び第2次小千谷市子ども読書活動推進計画について
 - ・ インフルエンザの発生状況について
 - ・ 各スキー大会の結果について
 - ・ 平成30年度体罰調査に係る報告について
 - ・ 子ども安心カードについて
 - ・ 給食センター給食費について
 - ・ エデュケーショントークについて

1.2 教育委員会第3回定例会

- ・ 日 時 平成31年3月26日(火) 午後3時30分～午後4時52分
- ・ 場 所 総合体育館 体育団体室

- ・ 会議録承認 平成31年第2回定例会
- ・ 議 事 (6件)

議案第11号	小千谷市立学校部活動指導員設置規則の制定について	原案可決
議案第12号	小千谷市立学校管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第13号	小千谷市教育委員会組織規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第14号	第2次小千谷市生涯学習推進計画の策定について	原案可決
議案第15号	第2次小千谷市子ども読書活動推進計画の策定について	原案可決
議案第16号 (非公開)	臨時代理について(教育委員会事務局、教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事を行うことについて)	原案承認

- ・ 協議報告事項 (8件)
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 平成31年度小千谷市教職員の人事異動について
 - ・ 市議会第1回定例会一般質問について
 - ・ 全日本ジュニアスキー選手権大会の結果について
 - ・ 「小千谷市スポーツ振興の集い」について
 - ・ 卒業式の感想について
 - ・ 平成30年度教育委員会総括

II 教育委員会における事務の点検及び評価

第五次小千谷市総合計画に定める施策のうち、教育委員会が所管する施策について点検・評価を行いました。

具体的には、前期基本計画に分野別に体系づけられた「施策の基本方針」について、平成30年度の取り組み状況を点検・評価したものであり、その結果は以下のとおりです。

なお、取組状況を補足するうえで、小千谷市が調製した「平成30年度 主要な施策の成果説明資料(兼事務報告)」(以下「資料」という。)を参照することが適当なもの、資料の該当ページを表示しました。

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア 家庭、地域における幼児教育の充実

【平成30年度の取り組み】

○幼児期における家庭教育の普及・振興を図るための講演会や親子教室等を、幼稚園等を会場として実施した。

実施回数 11 (幼稚園等) 参加者数 1,057人

※資料P163～166 「○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

○家庭教育の普及・振興を図るため、幼児期における家庭教育の課題解決のため保護者に情報提供を行うとともに、幼稚園等と連携して幼児教育の充実を図った。

○健やかな子どもの成長のために、早い段階から基本的な生活習慣を身につけることが重要であることから、健康部局や公民館分館と連携し、啓発することが必要となる。

○わんパークの子育て学級終了後の受講者による自主サークル化への誘導が必要となる。(親同士の相談、仲間づくり、主体的な問題解決)

イ 子ども読書活動の推進

【平成30年度取組み】

○遠隔地の保育園等で大型絵本等による読み聞かせや絵本の貸出を行う「夏休み移動図書館」を実施した。

6ヶ所 参加人数延べ321人 貸出冊数605冊

○図書館の本を団体貸出として、幼稚園や保育園に配本した。

○赤ちゃんの頃から絵本に親しみ、絵本を通じて親子の時間ができるよう、市の10ヶ月健診を受診する親子を対象にブックスタート事業を実施した。

実施回数 12回 受診者 201人

※資料P166～170 「○図書館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

○保育園等では毎日の読み聞かせや、家庭への貸し出しが実施されており、保護者への情報提供や啓発活動を多くの園で行っている。

○「子ども読書活動推進計画」に基づき、書架の配置や案内表示等を工夫し、本を手に取りやすい空間作りを心がけ、親子が気軽に読み聞かせができるようなスペースの確保を検討していく。

○子どもの本を用意する親が多いことから、今後も保育園等を通じて、本に親しむ機会を作り、併せて保護者への啓発を推進していく。

○ブックスタート事業を関係部局と連携し実施したことにより、保護者への啓発が進んだ。

ウ 教育相談の充実

【平成30年度の取組み】

- 教育支援委員会、保育園等関係機関と連携し、就学に関する情報交換及び就学相談に対応した。
- 改正した就学相談マニュアルに沿って就学相談を行った。
- 各園を対象とした巡回訪問を行い、園児についての情報収集を行った。

※資料P147～150 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 各園と学校との連携及び調整を円滑に図ることができた。
- 幼保小の就学相談に関わる連携体制の充実を図る。
- 児童生徒・学校・保護者との教育相談の充実を図る。

(2) 小・中学校教育の充実

ア 学校の創意を活かす教育の推進

【平成30年度の取組み】

- 「おちやっ子教育プラン」(28～30年度)に基づき、校長のリーダーシップのもと、家庭・地域と共に学校の創意を生かした取組みを行った。
- 「おちやっ子教育プラン」(28～30年度)の内容を各学校に周知し、教育プランの推進に取り組んだ。
- 県の学力向上推進システム活用事業の活用や全国学力・学習状況調査等の結果分析により、学力の実態や問題点・改善点を明確にし、学習指導改善に取り組んだ。
- 市教育研究会と連携した指導力向上研修と全小・中学校への市教委訪問における指導助言で、教職員の指導力向上を図った。

※資料P147～150 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 「おちやっ子教育プラン」(28～30年度)の最終年にあたり、各学校は、「目指す子どもの姿に迫る4視点」「たて糸とよこ糸がおりなす小千谷の人づくり(8観点)」等をグランドデザインに取り入れ、自校の教育活動を推進した。
- 各学校は、地域の人材や教育資源を活用した特色ある教育活動を推進した。
- 「新おちやっ子教育プラン」(2019～2021年度)の周知と、地域の自然や文化、産業等を活用した創意ある教育活動に一層取り組むよう指

導・助言する。

イ 学ぶ意欲を高める学習指導の推進

【平成30年度の取組み】

- 市教育研究会と連携した指導力向上研修と新学習指導要領に対応した研修及び全小・中学校への市教委訪問における指導助言で、教職員の指導力向上を図った。

※資料P147 「○教育委員会経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 研修の実施や指導等により、教職員の授業づくりに対する情報共有や改善意欲が向上した。
- 授業のねらいやまとめを明確にし、引き続き分かる喜びや学ぶ楽しさが実感できる授業づくりを推進する。

ウ ふるさと学習・キャリア教育の推進

【平成30年度の取組み】

- 「おりなす教育推進事業」（28～30年度）を実施し、子どもたちが、小千谷の自然・歴史・人等と繰り返しかかわる（おりなす）教育を推進した。

※資料P147～150 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校裁量を生かした教育活動を展開し、地域に根ざした特色ある教育活動を推進した。
- 市内の企業及び事業所と連携を図り、中学校の「職場体験活動」を円滑に行うことができた。
- 各種の学習資料を計画的に見直す。
- 小学校におけるキャリア教育の充実を図る。

エ 震災体験を活かした防災教育の推進

【平成30年度の取組み】

- 「防災教育の推進」を「おちやっ子教育プラン」に位置付け、年間を通して計画的に防災教育を推進した。
- 小千谷市が条例で定めた10月23日の「中越大震災の日」を中心に、各学校が防災教育を実施した。

※資料 P 147～150 「○教育指導経費」 参照

【成果及び今後の取組み等】

- 災害時に適切な行動ができるよう、訓練と指導の内容を工夫した。
- 防災教育を通して、児童生徒の意識化の向上が図られた。
- ミサイル発射時の避難について、各校の避難計画に位置付けた。
- 原子力災害時の避難マニュアルを作成する。
- 「おぢや震災ミュージアム そなえ館」の活用を推進し、地域を巻き込んだ安心・安全のための体制を整える。

オ 読書活動の推進

【平成30年度の取組み】

- 子どもの読書についてのアンケートを実施し、第2次子ども読書活動推進計画を策定した。
- 各学校の要望により図書館が出向き、大型紙芝居や読み聞かせを行う「学校おはなし会」を2小学校で延べ2回実施した。
- 遠隔地へのミニ移動図書館の実施を行った。
2小学校 計5回 貸出延べ192人、578冊
- 小中学校においては、「朝読書」などの全校一斉読書について取り組んだ。
- 小学校では読み聞かせやペア読書、中学校では読書量の多いクラスを表彰するなどの委員会企画が行われている。

※資料 P 166～170 「○図書館経費」 参照

【成果及び今後の取組み等】

- ミニ移動図書館は実施校が1校増えた。今後も利用が増加するよう、子どもたちに人気のありそうな図書を選書し、学校とも連携をして進めていく。
- 「子ども読書活動推進計画」に基づき、読書教育、資料の活用等について図書館と連携を図っていく。
- 書架整理や新着図書の受入など地域ボランティアと連携して行うことで、学校図書館を訪れやすい環境に整える必要がある。

カ 英語教育・国際理解教育の充実

【平成30年度の取組み】

- ALT 4名、外国語指導助手1名を配置し、国際理解教育、各学校の外国語活動に対応した。
- 国際理解教育推進事業により、小中学生と小千谷海外留学学生支援協

議会や長岡技術科学大学等の留学生との交流体験活動を実施した。

- 新学習指導要領実施に向け、市教育研究会で外国語教育部を設置し、外国語指導に関する研修や情報交換を行った。

※資料 P 147～150 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 新学習指導要領実施に向け、外国語指導に対する今後の課題などを情報共有することができた。
- グローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、教員の英語力・英語指導力向上を図る取組みを推進するとともに、引き続きALT等の講師の配置による指導体制の充実を図る。
- 市内滞在の留学生や近隣大学等の留学生を活用した交流により、国際理解教育を推進する。

キ 日本語指導等を必要とする児童・生徒への対応

【平成30年度の取組み】

- 日本語指導を必要とする児童に対して、指導補助員を配置し、学習や生活面で支援した。

※資料 P 153～154 「○小学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 指導補助員を配置することで、児童生徒が安心して学校生活を送ることができた。
- 今後も日本語指導等を必要とする児童生徒に対して、自立に向けた支援を継続的に行う。

ク いじめ・不登校対策、人権感覚を育む教育の推進

【平成30年度の取組み】

- 児童生徒の適応状況を定期的に把握し、教育センター「マイルーム」、教育相談員、各学校等と連携を密にして対応した。
- 「いじめ・不登校等対策協議会」を開催し、課題と対策について学校及び関係機関と協議した。
- 「いじめ対策専門委員会」を開催し、いじめの状況の確認や事例について検討した。
- 同和教育の現地研修が積極的に行われるように輸送等の支援を行った。

※資料 P 147～150 「○教育指導経費」参照

※資料 P 151 「○適応指導教室経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校の積極的ないじめ認知に伴い認知件数は増加したが、迅速で適切な対応により重大事案に該当するいじめの発生はなかった。
- 不登校児童生徒が増加するとともに、「マイルーム」の利用者が増え、個に応じた対応に努めた。
- 児童生徒の個々の問題状況に対処するため、県サポートチームやスクールソーシャルワーカーを活用する。
- 「マイルーム」の運営について改善を図り、不登校児童生徒への適切な支援、学校との連携の強化を図っていく。
- 同和教育の現地研修については、今後も継続して支援していく。

ケ 非核平和教育の推進

【平成30年度の取組み】

- 市内3中学校で被爆体験伝承講話会を実施し、被爆体験者から直接話を聞く機会をもった。

【成果及び今後の取組み等】

- 被爆体験伝承講話会を通して、核のない平和な社会を築くことの大切さについて、実感をもって学ぶことができた。
- 社会科や国際理解教育、道徳教育等、様々な学習場面で、児童生徒に生命や平和の大切さを伝えていく。

コ 食育の推進

【平成30年度の取組み】

- 給食週間の実施や給食だよりの発行など、学校給食を通して、児童生徒及び保護者に対し食に関する正しい知識と望ましい食習慣について周知を図った。
- 市内全校での小千谷産コシヒカリを使用した米飯給食の実施や、地元農家等と協働して地場産野菜を使用することで、地産地消の観点から食育についての啓発を図るとともに、食を通じて地域の理解を深めた。
- 「10.23 中越大震災の日給食」として、震災時を想定し、備蓄できる食品を活用しながら、簡単な調理作業により提供できる献立による給食を市内統一で実施した。

※資料 P 172 「○学校給食経費 ○学校給食センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 地場産物の活用により、食育の生きた教材となる学校給食としての役割を果たしている。
- 栄養教諭や学校栄養職員を中心に、児童生徒及び保護者に対して学校給食、授業、試食会等を通して食育を継続していく。
- 学校給食を通じた防災体験活動として「10.23 中越大震災の日給食」を継続し、併せて児童生徒の防災意識の向上を図る。

サ 学校給食の運営

【平成30年度の取組み】

- 調理員等の資質向上のため、研修会を実施した。
- 感染性胃腸炎等対応マニュアルの見直しを行った。
- 学校給食における食物アレルギーマニュアルの見直しを行った。
- 学校給食センター調理・運搬業務の民間委託の運用を開始した。

【成果及び今後の取組み等】

- 研修会等を通して、安心・安全な給食の提供に対するスキルや意識の向上が図られた。
- 各種マニュアルを随時見直し、適正な衛生管理等に努める。
- 学校給食センターの調理・運搬業務の厳正かつ適正な指導・評価を行い、引き続き安全・安心な給食の提供に努める。

(3) 特別支援教育の充実

ア 就学相談体制の充実

【平成30年度の取組み】

- 就学相談の手引となる「就学相談の進め方」を見直し、就学相談体制の整備を図った。
- 各園の「発達支援コーディネーター」を対象とした研修会を実施し、園での就学相談体制を整えるとともに、小学校への情報提供を行い、適正な就学に努めた。
- 各園への巡回訪問を行い、園児の様子について情報収集し、その後の就学相談につなげた。

【成果及び今後の取組み等】

- 就学相談について保護者と学校との調整を図ることで、就学前児童の円滑な就学を進めることができた。
- 保育園・認定こども園と小学校との円滑な連携が進められた。
- 各園職員の特別支援教育への理解、適切な就学相談のあり方等研修を進めていく。

イ 通級指導教室の拡充

【平成30年度の取組み】

- 通級指導教室（言語障がい、発達障がい）を有効活用し、小学校の特別支援教育の支援を行った。
- 小千谷中学校に通級指導教室（発達障がい）を新設し、中学校の特別支援教育の充実を図った。

【成果及び今後の取組み等】

- 従来の就学相談・教育支援委員会の時期や進め方及び手続きを見直し、個々の児童生徒に応じた効果的な相談体制となっている。
- 小千谷中学校以外からの通級指導教室への通室を働きかける。

ウ 総合支援学校の運営支援

【平成30年度の取組み】

- 各学校と総合支援学校とのホットラインを活用した、相談支援体制の充実を図った。
- 総合支援学校主催の研修講座を定期的に行い、市の特別支援教育の充実を図った。

【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校とその他の学校、保育園・認定子ども園との連携がより充実した。
- 市内における特別支援教育のセンター的機能を担う取組みの充実を図る。
- 総合支援学校研修講座への市内教職員の積極的な参加を促す。

エ 特別支援教育の充実

【平成30年度の取組み】

- 小・中学校に、特別支援アシスタント24名、小学校に、学校支援員15名を配置し、個のニーズに応じたよりきめ細やかな支援に取り組んだ。
- 地域における特別支援教育の充実を図るため、総合支援学校に設置された地域支援・特別支援教育推進部の活用を進めた。
- 総合支援学校のセンター的機能を活かし、相談支援ネットワークの構築を図った。

※資料 P 153～154 「○小学校教育振興経費」参照

※資料 P 156～157 「○中学校教育振興経費」参照

※資料 P 158 「○特別支援学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校の地域支援・特別支援教育推進部が、各園や学校と積極的に連携し、児童生徒の個別の支援を進めた。
- 学校開放（参観）や教育相談を実施することにより、特別支援教育の現状や必要性を保護者や地域へ啓発する。

オ 生徒への就労支援

【平成30年度の取組み】

- ハローワーク主催の企業説明会への参加や市内企業、障がい者就労施設での現場実習に取り組んだ。

【成果及び今後の取組み等】

- 生徒の願いに沿った現場実習を継続的に行うことで、生徒の適性に合った適切な就労につなげることができた。

(4) 教育環境の整備

ア 学校施設の整備・充実

【平成30年度の取組み】

- 小学校の校舎整備工事を実施した。

〈主な工事〉

- ・小千谷小学校児童玄関漏水対策工事
- ・吉谷小学校屋内運動場屋根改修工事
- ・千田小学校校舎大規模改造（建築）工事
- ・千田小学校校舎大規模改造（電気設備）工事
- ・千田小学校校舎大規模改造（衛生設備）工事
- ・片貝小学校給食室トイレ洋式化工事

- 中学校の校舎整備工事を実施した。

〈主な工事〉

- ・小千谷中学校西校舎3・4階男子便所トイレ洋式化工事
- ・片貝中学校渡り廊下漏水対策工事
- ・片貝中学校受水槽室加圧ポンプ取替工事

- 総合支援学校の校舎整備工事を実施した。

〈主な工事〉

- ・火災報知設備受信機取替工事
- ・1階女子便所洋式化工事

※資料 P 154～155 「○小学校施設整備事業」参照

※資料 P 157 「○中学校施設整備事業」参照

※資料 P 157～158 「○特別支援学校管理経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

○学校施設の老朽化や教育環境の変化に対応した施設整備を計画的に実施する。

〈今後の主な工事〉

- ・吉谷小学校校舎水道赤水対策工事
- ・小千谷中学校屋内運動場漏水対策工事

イ 学校給食施設の整備・充実

【平成30年度の取組み】

○小千谷小学校 給食室蒸気配管更新工事を実施した。

※資料P172 「○学校給食経費 ○学校給食センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

○今後も計画的に老朽化した施設設備の改善を図り、安心・安全な学校給食を推進していく。

ウ 情報化の推進

【平成30年度の取組み】

○電子黒板やデジタル教科書の活用とともに、プログラミング教育に関する教職員研修会を実施した。

○ICTを活用した授業支援及びICT機器の操作支援等のため引き続き情報教育業務委託を実施した。

○コンピュータ機器の整備及びデジタル教材の充実を図った。

※資料P151～153 「○教育センター経費」参照

※資料P153～154 「○小学校教育振興経費」参照

※資料P156～157 「○中学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

○ほぼ全ての学校で、電子黒板やデジタル教科書の活用に関する研修、プログラミング教育に関する研修を実施し、教職員のコンピュータ活用能力と情報活用能力の育成が図られた。

○児童・生徒の更なる情報活用能力の育成とともに、情報モラル教育を推進する。

○コンピュータ機器・デジタル教材の更なる充実を図るとともに、これらを活用した授業支援を推進する。

○新学習指導要領に向け、プログラミング教育に対する新たな授業支援

を推進する。

(5) 育英事業の推進

ア 育英事業の支援

【平成30年度の取組み】

○(公財)小千谷奨学会において、経済的な理由により就学困難な者に対し奨学金の貸与を行った。

・貸与者数 新規 19人 継続 61人 計 80人

・平成30年度貸付総額 23,094千円

○(公財)小千谷奨学会において、小千谷学生寮を運営し、共同生活を通じた健全な学生生活の向上と、経済的負担の軽減を図った。

・学生寮入寮者数(4月1日現在)

新規 6人 継続 19人 計 25人

※資料P147 「○学校教育総務経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

○小千谷学生寮に対する効果的なPRを行った結果、入寮が満室となった。

○育英事業の充実を図るため、(公財)小千谷奨学会の学生寮運営経費等に対して助成を継続する。

○小千谷学生寮について、快適な住環境を維持するため、計画的に修繕・整備を図る。

○ホームページやポスター・パンフレットなどの有効な手段を用いて、小千谷学生寮の入寮生募集に努めていく。

2 生涯学習の推進

(1) 生涯学習事業の充実

ア 学習機会の充実

【平成30年度の取組み】

○市民アンケートを実施し、第2次生涯学習推進計画を策定した。

○第1次生涯学習推進計画に基づき、市民の学習機会を提供した。

○戊辰150年記念事業を実施し、戊辰150年をPRするとともに、戊辰戦争に関する学習機会を提供した。

○市民会館リニューアル公演として「小千谷コミュニティオペラ2018」を市民合唱団とともに実施した。

○高齢者教育をはじめ、青少年・家庭教育についても多様な学習機会の提供に努めた。

○地域に伝わる伝統文化を次世代に継承する事業を実施する団体を支援し、伝統芸能の交流公演や伝統文化の学習会を開催した。

※資料 P 159 「○社会教育総務経費」参照

※資料 P 163～165 「○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 戊辰150年記念事業では、小千谷の歴史について、「小千谷談判」劇や講演会などを通して、分かりやすく学習し、ふるさとの歴史について振り返る機会を提供することができ、アンケート結果でも満足度が高かった。戊辰戦争や小千谷の歴史について、次の世代に語り継いでいく布石となった。
- 生涯学習推進計画の浸透を図るとともに、関係機関・団体等と連携し、コーディネーター機能を発揮しながら計画を推進していく必要がある。
- 成果や効果を実感できるプログラム作りに努め、継続的・循環的な学習を提供する必要がある。
- 「個人の要望」と「社会の要請」のバランスのとれた学級・講座の開催や参加しやすい環境づくりに努めることにより、生涯学習への関心を高め、参加者の増加を図っていく。
- 公民館分館においては、地域課題・生活課題の解決のため、身近な地域で学べる学習機会の仕組みづくりを進める。
- 伝統文化を次世代に継承する団体を支援することで、小千谷市をPRすると共に、市民の地域への関心を高めることができたため、今後は、学習会の内容の充実等を検討する必要がある。

イ グループ活動の支援

【平成30年度取組み】

- 社会教育団体登録制度により、76団体に対し社会教育施設の利用に対して支援を行った。
- 公民館等で実施している講座から、新たに自主サークルとして学習活動へ移行するための助言・指導を行った。
- 市内で活動する子育てサークル（2グループ）の親子ふれあい活動やレクリエーションなど自主的な活動を支援した。

【成果及び今後の取組み等】

- 公民館等で実施している講座から、1つの自主グループが結成された。
- 市民会館の利用者は、社会教育登録団体の利用が多く、減免措置を

講ずるなど、今後も自主的に活動しているグループを継続支援していく。

○引き続き、自主的な学習活動への支援を行っていく。

ウ 指導体制の充実

【平成30年度の取組み】

○青少年育成指導委員の指導技術向上と指導者意識を高めるため、コミュニケーション能力や資質の向上に向けた研修会を実施した。

【成果及び今後の取組み等】

○引き続き、青少年育成指導委員には、学んだ知識や技術など学習成果を生かせるよう指導技術の向上に取り組む。

○指導者を地域で活用するため県の人材名簿「ラ・ラ・ネット」や独自の人材名簿の整備をさらに進める。

エ 公民館活動の充実

【平成30年度の取組み】

○おちやを支える次世代人材育成事業として、高校生を対象としたワークショップ、20代～40代を対象とした講座を実施し、地域課題の発見や気づきの共有を行い、自分と小千谷の将来について学びの場を提供した。

○高齢者学級、美術教室、外国人のための日本語教室、家庭教育地域交流振興事業やシニア世代を対象にしたシニアC a f eを実施した。

○公民館分館活動の現状を把握するため、地区ごとに分館訪問を実施した。

○公民館分館活動においては、文化・スポーツ事業を中心に延べ38,770人が参加した。

○分館活動を具体的に推進するため、モデル的事業を関係機関と連携して実施した。

※資料P163～165 「○公民館経費 ○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

○おちやを支える次世代人材育成事業では、若い世代の地域社会に対する気づきを共有することができた。今後は、主体的に考えることのできる人材の育成を図る。

○今後も市民のニーズを把握し、他の社会教育施設や関係団体との連携・協力により多様な講座の開催や参加しやすい環境づくりに努め、公民館利用者の増加につなげたい。

- 質の高い学習や交流の深まる学習プログラムを展開し、学習者の生活課題の解決に向けた学習機会の提供に努めるとともに、人材育成を行う。
- 公民館分館の活動情報の発信や役員の研修など、活動の活性化を図る取組みが必要である。
- 中山間地域の公民館分館において、高齢化や人口減少により活動の停滞が見られることから、分館活動のあり方について検討する必要がある。

オ 図書館サービスの充実

【平成30年度の取組み】

- 子どもの読書についてのアンケートを実施し、第2次小千谷市子ども読書活動推進計画を策定した。
- 図書館開館40周年記念事業として、記念講演会やシンポジウムを実施した。
- 「絵本作家講演会」や「夜のおはなし会」「こどもとしょかん春のつどい」といった様々な形式による読みきかせなどの事業を通して、子どもの読書活動推進のためのサービスを実施した。
- ボランティアグループと協力して書架整理や読み聞かせの活動を実施した。
- 利用者のぬいぐるみを預かり図書館を探検し、それにあわせて図書をお薦めするという、「ぬいぐるみお泊まり会」を実施した。
- 市民の読書への関心を高めるために、大人向け、子ども向け本の特集コーナー（1回/月）やミニコーナー（2回/月）を設置した。

※資料P166～170 「○図書館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 図書館施設ボランティアや事業ボランティアを育成していく必要がある。
- 本の特集コーナーやミニコーナーの展示方法を工夫し、展示を新しいものに定期的に替えることで特集本の貸出数が微増した。
- 「ぬいぐるみお泊まり会」はこれまでと違う切り口のイベントだったためか好評であり、定員を超える申込みがあった。
- 「子ども読書活動推進計画」に基づいた取組みを進める。
- 図書館の利用の拡大のために、市民ニーズに合った蔵書の充実を図るほか、インターネット予約、リクエスト制度、レファレンス業務など利便性と読書・調査支援などについて情報発信に努める。
- 計画されている新図書館が、「賑わい・交流・憩の創出」を基本方針

とした施設となるよう、関係課等と連携し準備を進める。

カ 生涯学習施設の整備

【平成30年度の取組み】

○新図書館及び（仮称）郷土資料館の基本計画に基づき検討を行った。

【成果及び今後の取組み等】

○市民会館、図書館、市民学習センターなど社会教育施設の改修、修繕について、実施計画、小千谷市生涯学習推進計画に基づいて実施していく。

(2) 青少年の健全育成

ア 相談業務の充実

【平成30年度の取組み】

- 青少年相談員を2名配置し、面談、電話相談、電子メールによる相談を実施、青少年の悩みに応え、人生の目標を見出すよう導くための対応を行った。（相談件数 延べ182件）
- 青少年相談員の研修会として、子育て支援カウンセラー小柳信子氏による電話相談の研修を行った。

※資料P162 「○育成センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 相談者は、主として電話による中学生、高校生からの相談が多い。数年にわたる継続的な相談もある。
- 青少年自身の悩みへの対応のほか、保護者による子どもへの対応や保護者自身の相談が増えてきている。
- 相談内容により他機関の専門相談員と連携している。

イ 育成指導体制の充実

【平成30年度の取組み】

- 青少年育成センター運営協議会、青少年補導委員会、青少年問題協議会による会議・研修会を開催した。
- 街頭補導を年間44回実施し、従事者は延べ131人、声かけをした少年は717人であった。
- 青少年の健全育成に関する活動を推進するため、青少年育成指導委員が、親子手作り教室やキャンプを実施した。

※資料P162 「○青少年対策経費 ○育成センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 青少年補導委員による街頭補導活動（愛の一声運動）、関係機関との合同パトロールを実施し、青少年の実態を把握できた。結果として、問題行動はほとんどなかった。
- 青少年育成センターを中心に学校・地域・PTAなどと連携を図り、広報活動による啓発活動を通して、地域に根ざした青少年健全育成活動を推進する。
- 様々な問題を抱えながら、義務教育を終えた青年期の人の把握や相談・支援の体制の整備が急務となっている。
- 青少年育成指導委員について、研修機会を増やし、指導者育成に努めるとともに、今後の青少年の育成指導を充実させる。

ウ 家庭教育の支援

【平成30年度の取組み】

- 乳幼児期・少年期における家庭教育の啓発を図るため、家庭教育地域交流振興事業として小中学校や幼稚園が行う講演会等に講師を派遣する等の支援を行った。（実施回数24回、延べ参加人数2,325人）

※資料P163～165 「○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校、PTAなどと連携して、家庭教育の啓発が進められた。
- 子どもを取り巻く状況や社会の課題を的確にとらえた講座、教室を、学校、PTAなどと連携し、今後も継続して実施する必要がある。
- 子育て支援の関係課・関係団体と情報を共有し・連携や役割分担して、事業に取り組む。
- 家庭におけるメディアコントロールや基本的な生活習慣を身に付けるための啓発活動を強化する必要がある。

エ 地域活動などへの参加推進

【平成30年度の取組み】

- 高齢者学級のサークルが、福祉施設や小学校にボランティアで活動支援を行えるよう調整した。
- PTAや地域の団体が実施する青少年を対象とした教室に青少年育成指導委員やスポーツ推進委員を派遣し、活動の支援を行った。
青少年育成指導委員の派遣 3回、延べ参加人数 120人
スポーツ推進委員の派遣 76回、延べ参加人数 3,154人

※資料 P 162 「○青少年対策経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- ボランティア活動の情報提供や人材・ニーズなどを関係機関と連携調整し、活動の支援を行う必要がある。

オ 地域ボランティアの活動支援

【平成30年度の取組み】

- 放課後子ども教室における学校ボランティアの資質向上と情報交換のため、代表者会議とボランティア研修会を開催した。

【成果及び今後の取組み等】

- 地域ボランティアの資質向上のため、新潟県等が実施する各種研修会に積極的に参加していくとともに、地域ボランティアの拡充や交流の取組みを進めていく。

カ 子ども・若者育成への支援

【平成30年度の取組み】

- 若者世代の繋がりや交流の促進を図り、若者世代への支援や相談業務を実施した。

【成果及び今後の取組み等】

- おぢやまつりへの参加やホットプラザ祭の開催などの若者世代の交流の場を提供し、若者世代の結びつきを強化することができた。
- 活動を希望する若者世代を支援し、事業へ新たな参加者を呼び込んだ。
- 子ども・若者世代やひきこもり等への支援や取組みについて、今後、関係機関や関係課と協議し、検討する必要がある。

キ 勤労青少年の活動支援

【平成30年度の取組み】

- 教養講座として、延べ32講座・教室を開催した。また、勤労青少年の参加を促すため「浴衣に似合うヘアアレンジ講座」や「楽しい英会話講座」など新しい講座・教室を開催した。
- 20代・30代の利用者を対象とした講座に対するアンケート調査を実施した。
- 講座の参加者がより主体的継続的に活動を行うよう、自主グループ化に向けて指導・助言した。

※資料 P 103～104 「○勤労青少年ホーム運営事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- アンケート調査で要望が多かった講座・教室を開催し、これまで講座・教室に参加したことのない方や勤労青少年からの参加者を得た。
- 若者の持っているニーズや課題に対応した学習機会の提供を充実する必要がある。
- 高校生の参加や学習活動の支援を行うための協議を進める。

3 文化の振興

(1) 文化・芸術の振興

ア 文化団体などの育成支援

【平成30年度の取組み】

- 国際交流・文化・スポーツ振興基金を活用し、多彩な活動を展開する文化団体への支援を行った。
基金活用団体 5団体
- 市内で活動する個人や団体に対し、活動の成果を発表する機会として、市民音楽祭・市民文芸のつどい・文芸おぢや発刊・小千谷市美術展覧会等、各種発表会を開催した。
- 市民学習センター「楽集館」において、団体等が作品展示する機会を提供した。

※資料P163～165 「○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 小千谷市から発信する、若者が企画する文化イベントの定着化を支援する。

イ 芸術鑑賞の機会の充実

【平成30年度の取組み】

- 小千谷市出身のオペラ歌手やプロの演奏家と、市民合唱団によるオペラを上演し、オペラ鑑賞の機会を提供した。
- 小千谷市出身の彫刻家による企画展や、旧割烹「東忠」の所蔵品の展示等、小千谷にゆかりの企画展を実施した。

【成果及び今後の取組み等】

- 芸術文化に関する生涯学習機会の充実を図るため、他の自治体施設との相互協力を図っていく必要がある。
- 第34回国民文化祭・いがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会の市独自事業の実施や応援事業の実施を支援する。

(2) 文化財等の保存と活用

ア 文化財の調査、保存

【平成30年度の取組み】

- 市内の建造物の外観調査（悉皆調査）の結果を受け、国の登録申請のための詳細調査を実施した。
- 「東忠展～明治・大正・昭和の記憶」や「戊辰の地 小千谷」などの企画展示を、文化財を活用して開催した。
- 各種開発に伴う埋蔵文化財の試掘調査を塩殿地区ほか5カ所で実施した。

【成果及び今後の取組み等】

- 国の登録有形文化財登録の登録に向け、引き続き意見具申を行う。
- 企画展は小千谷にゆかりのある内容で実施し、市民のみならず市外の方からも好評を得た。
- 引き続き文化財を活用し、市民から文化財の理解を深めてもらう必要がある。
- 埋蔵文化財の試掘調査により、塩殿地区から縄文時代の遺跡を発見し登録した。
- 次年度以降も県営圃場整備に伴う埋蔵文化財の試掘調査を予定しており、関係機関等と連携・協力し進める。
- 小千谷市伝統芸能保存連絡会議を開催し、文化遺産を活用する計画を策定する。
- 越後上布・小千谷縮技術保存協会が行うユネスコ無形文化遺産登録記念事業を支援する。

イ 文化施設(郷土資料館等)の整備

【平成30年度の取組み】

- 基文化施設建設基金の預金利子を積立てた。現在高は約7億1,455千円となった。
- 複合施設と一体となった(仮称)郷土資料館の実施方針を策定した。

【成果及び今後の取組み等】

- 複合施設と一体となった(仮称)郷土資料館について、民間事業者を決定する。

ウ 後継者の育成

【平成30年度の取組み】

- 小千谷縮布技術伝承者養成事業補助金などにより、小千谷縮技術保存協会が実施する後継者養成事業を支援した。

※資料 P 159～160 「○文化財保存事業」 参照

【成果及び今後の取組み等】

- 伝統文化の保存と継承のため、小千谷縮技術保存協会等と連携し、継続した取組みが必要である。

エ 郷土の偉人の顕彰

【平成30年度の取組み】

- 西脇順三郎にかかる記念講演会等の事業を関係団体と連携して実施した。

※資料 P 166～170 「○図書館経費」 参照

【成果及び今後の取組み等】

- 郷土の偉人に関する資料の収集と整理に努め、資料を市ホームページで閲覧できるよう、その活用を進めていく。

4 スポーツの振興

(1) 地域スポーツの振興

ア 生涯スポーツの推進

【平成30年度の取組み】

- 地元町内会と連携し、地域に出向いて軽運動を実施する「いきいき健康教室」を岩沢及び真人地区で実施した。
- 障がい者スポーツの普及や理解促進の事業として、6月にユニバーサルスポーツ交流大会でボッチャ競技、9月に車椅子バスケットの紅白試合の観戦や各種ユニバーサルスポーツ種目の体験会を実施した。
- 生涯スポーツ活動の推進を図るため市内各団体からの依頼に対して、スポーツ推進委員を講師として派遣した。(平成30年度 53回)

※資料 P 173～175 「○社会体育振興事業」 参照

【成果及び今後の取組み等】

- スポーツ教室への参加者は多く、特に高齢を対象にした教室においては、延べ9,973人の参加を得て成果を上げている。
- 健康ポイント事業をきっかけとして、地域で自主的に継続して活動する団体が増えた。
- 総合型地域スポーツクラブと連携し多様なスポーツ教室を開催し、生涯にわたるスポーツへの親しみと、健康・体力の維持増進に寄与

した。

- 生涯スポーツを推進し、市民の健康生活の持続と健康寿命の延伸を目的とした健康ポイント事業を継続実施した。
- 健康ポイント事業実施に伴い、地域での運動への需要の高まりを医師や保健師、総合型スポーツクラブ等と連携し、運動の習慣化を図っていく。

イ 競技スポーツの推進

【平成30年度の取組み】

- 競技力向上のため、駅伝競走大会や各種スポーツ大会を市スポーツ協会、種目別競技団体等と連携して開催した。
- ジュニア層の競技水準の向上を図るため、学校、市スポーツ協会、種目別競技団体等と連携してジュニア選手の育成・強化に努めた。

※資料P173～175 「○社会体育振興事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 陸上競技、スキー、水泳、ソフトテニス、バスケットボール、バレーボール、BMX、相撲等の競技で全日本選手権、国民体育大会、全国高等学校総合体育大会等の全国大会及び国際大会に出場した。
(87件)
- 全国、世界に通用する選手・チームを数多く輩出できるよう、今後も市スポーツ協会及び種目別競技団体等と連携を図っていく。
- 国際交流・文化・スポーツ振興基金を活用し、今後も全国大会以上の大会へ出場する選手・団体に対し、報奨金を支給するとともに、世界の舞台で活躍する選手のサポート事業を実施する。

ウ スポーツ活動の普及推進

【平成30年度の取組み】

- 「小千谷市いきいきガイド」にスポーツ大会、行事・スポーツ教室のページを設け、全戸配布するとともに、市ホームページに掲載して市民に情報提供を行った。

【成果及び今後の取組み等】

- 市ホームページに掲載し、市民の利便性の向上を図ることができた。スポーツ大会等の結果についても掲載した。

エ 指導者養成の推進

【平成30年度の取組み】

- 長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会の指導者育成事業を活用し、指導者の養成と資質向上を目的とした講習会を開催した。
 - ・生涯スポーツ指導者研修会（参加者76人）
 - ・種目別競技（卓球競技）指導者研修会（参加者171人）
 - ・専門指導者派遣活用事業（74回 延べ参加者数1,833人）
- スポーツ推進委員の資質向上のため、スポーツ推進委員協議会での情報交換、また他市町で開催した合同研修会に参加し、協議会独自の研修会を企画実施した。
- 中学校の運動部活動の充実を図るため、県のスポーツエキスパート活用事業を活用し、外部指導者派遣を実施した。
（3校 計4名 30回/名）

※資料P173～175 「○社会体育振興事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会や新潟県の事業等を活用し、質の高い指導者養成を行う。
- 指導者のニーズに合わせ、専門種目の実技講習会を開催する。
- ジュニアスポーツ指導者及びジュニア競技者のための講習会を開催する。

オ 健康・体力づくりの推進

【平成30年度の取組み】

- 拠点施設である総合体育館トレーニングルームのマシン整備を行い、利用者の利便性の向上を図るとともに、利用者にトレーニングメニューの提供を行った。
新規登録者数 495人 利用者数 43,268人
- 健康づくりの観点から、成人の運動習慣化を図るため、民間企業等とも連携し健康ポイント事業（ポイント制の運動教室）を行った。
また、運動のきっかけづくりとなる事業や体力測定会を定期的に行い、運動に関する相談窓口を設けた。
健康ポイント事業 参加者数1,944人

【成果及び今後の取組み等】

- 総合体育館トレーニングルームの活用により、市民の体力づくりが図れるよう、利用者のニーズを把握し機器の整備を図っていく。
- 運動の習慣化を図るための運動する場の提供や運動メニューの考案など行えるよう、医師、保健師、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、各種スポーツ教室の充実を図る。

(2) 体育施設の整備

ア 体育施設の整備・充実

【平成30年度の取組み】

○多様化する住民ニーズに効果的、効率的に対応するため、既存施設の整備充実に努めた。

白山運動公園野球場バックネット更新工事

白山運動公園野球場照明制御盤移設工事

総合体育館サブアリーナ天井照明LED化工事

市民プールウォータースライダー揚水ポンプ取替工事

※資料P176 「○都市公園体育施設等管理経費」参照

※資料P176 「○総合体育館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

○年次的に既存施設の整備充実に取り組む。

イ 白山運動公園の再整備計画

【平成30年度の取組み】

○陸上競技団体等にクロスカントリーコースのレイアウトを中心にヒアリングを行った。

【成果及び今後の取組み等】

○子育て世代への意見収集を行う。

ウ 屋根付き屋外運動施設の整備検討

【平成30年度の取組み】

○雪国に適応した屋根付き屋外運動施設の建設について、先進地の視察や情報収集を行った。

【成果及び今後の取組み等】

○屋根付き屋外運動施設は、一年を通じて利用ニーズが高いことから、引き続き先進地の視察や情報収集を進める。

5 人口減少対策

ア 少子化対策の推進

【平成30年度の取組み】

○独身者に対する出会いの場を創出するため、「ときめきめぐりあい推進事業」を引き続き実施した。

- 平成30年度は45回のめぐりあい（お見合い）を実施し、5組（イベントからの成婚カップル1組を含む。）の成婚があった。
- 婚活イベントを4回実施して出会いの場を創出した。
- 山本山クライנגアルテン（日帰り農園）を借りての家庭裁園「ときめきファーム」を実施し、6月から12月まで、独身男女が定期的に集まり、家庭裁園を実施しながら交流した。

※資料P161 「○ときめきめぐりあい推進事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- お見合いの数を増やし、出会いの場を多く創出するためには、女性会員数を増やす必要がある。そのため、初の女子会型イベントを開催したところ多くの新規女性会員獲得に成功した。今後も女子会型イベントによる本事業のPRに取り組みたい。

Ⅲ 点検及び評価に対する意見等

平成30年度の取組み状況等の点検・評価に対する意見等は、以下のとおりです。

1 学校教育の充実

- ・小千谷市でもALTの人数が増えたことは、とてもいいと思う。小学校では、もう少し授業を柔軟に扱って、子どもたちが自由に英語で話ができるような雰囲気を作るのも1つの指導方法ではないか。
- ・学校では子どもたちが、自分たちで作り出す、考える創造力をとても大切にしていると感じた。既存のものをただ展示するだけでなく、自分たちが作り上げていく、創造力を高めていくということを大切にされていて、そこに力を入れているのはとてもいいことだと思う。
- ・小千谷の教育推進事業の中で、ふるさと教育というものがあるが、学校の先生方は、地域の良いところを子どもたちに教えてあげる立場であり、地域の応援団であっていただきたい。
- ・新任の先生方には、小千谷の良さなどをレクチャーできるような機会を作っていただきたい。
- ・地元を大事にしていくという点で、子どもたちには、小千谷のことをしっかり学んで、その中で地域とのつながりを大事にして欲しい。
- ・これからは入試制度も変わり、大学入学共通テストは、国語と数学に記述が入ってくる。今後は、自分で書く力が求められるが、読書量が少なければ書く材料もなく、自分で考え出すことができない。また、英語も外部試験になるため、今後も小・

中・高等学校と連携を取りながら取り組んでいく必要がある。

- ・メディアコントロール関係について、現状を意識化することが大切であり、小学校の保護者会等でも様々な話題を出して欲しい。

- ・第三者からの学校現場のアンケートを実施し、地域の声を聞くというのもいいと思う。

- ・いじめについて世代によって捉え方が違う。子ども、親、祖父母の世代でお互いの共通理解が図れる場や、身近な問題を取り上げるような研修会等があればいいと思う。

2 生涯学習の推進

- ・読書に関する事で、以前、高校の先生に一番大切なことは、読む力であり、高校に入る前にできるだけ読む力をつけて欲しいという話を聞いた。ブックスタートのように、小さい頃から子どもも親も読書を意識できるような事業を実施した結果として、図書館の利用数も増えてきたのではないかと思う。

- ・勤労青少年ホームは、会社勤めをしている若い人たちの利用だけでなく、高校生も一緒に、自由に何かが出来るとような場所なんだという雰囲気を作ってもらえると、高校生も利用し、地域との連携ができるのではないかと思う。

- ・文化・スポーツと非常にまんべんなく事業に取り組んでいて、その成果が出ていると思う。

- ・中年層の引きこもりについて、基本的には社会福祉の問題だと思うが、そのような人たちがたくさん出てきているのであれば、それは教育の問題でもある。今後はそういった観点のケアも必要であると思う。

3 文化の振興

- ・おぢやを支える次世代人材育成事業で、小千谷の若者が主体となって行うイベントも、もっと参加人数が増えていくとさらにいいと思う。

4 スポーツの振興

- ・今年から、中学校の市内大会がなくなった。今後、教育委員会とスポーツ協会や高校生でそれに代わる親善大会のようなものができれば、子どもたちも励みになるのではないか。

- ・体育施設の整備の屋根付き屋外運動施設の整備検討について、昨年から引き続きお願いしているところだが、構想だけでも具体化していただきたい。

平成30年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

令和元年8月

編集・発行 小千谷市教育委員会

〒947-8501 小千谷市城内二丁目7番5号

電話 0258-83-3519

FAX 0258-83-5779